鹿病防第　１７　号
平成１９年　8月　9日

各関係機関の長　殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成１９年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて，発生予察注意報第３号（普通期水稲のトビイロウンカ）を発表します。

病害虫発生予察　注意報第３号

１　農作物名　　　　普通期水稲

２　病害虫名　　　　トビイロウンカ

３　発生状況及び注意報発令の根拠

（１）８月３～８日の薩摩半島26地点(52ほ場)における巡回調査では，発生ほ場率81%(平年10%，前年39%)と平年や前年に比べて高かった。

（２）水田に定着して増殖する短翅型雌成虫の発生ほ場率も62%と高く，株当たり虫数は0.4頭と，８月上旬の要防除水準0.2頭を上回っている。

（３）向こう３か月の天候予報では，九州南部の平均気温は平年並か高いと予想されており，トビイロウンカの増殖に好適な条件が見込まれる(鹿児島地方気象台　7月25日発表)。

４　防除の考え方

（１）７月３日飛来虫の８月世代幼虫の防除時期
粉剤・液剤・粒剤による防除の場合は，８月20～25日頃を目安に防除する。

（２）コブノメイガとの同時防除については，注意報第２号(平成19年８月１日付け)を参照。
（いずれも，次項の発生経過予測図を参照。）

５　防除上注意すべき事項

（１）トビイロウンカは増殖率が年間1,000～1,500倍と非常に高く，８月下旬以降には高密度となり坪枯れ被害を生じる。ほ場内の分布にはムラがあるので，できるだけほ場全体の発生状況を確認し，防除を徹底する。

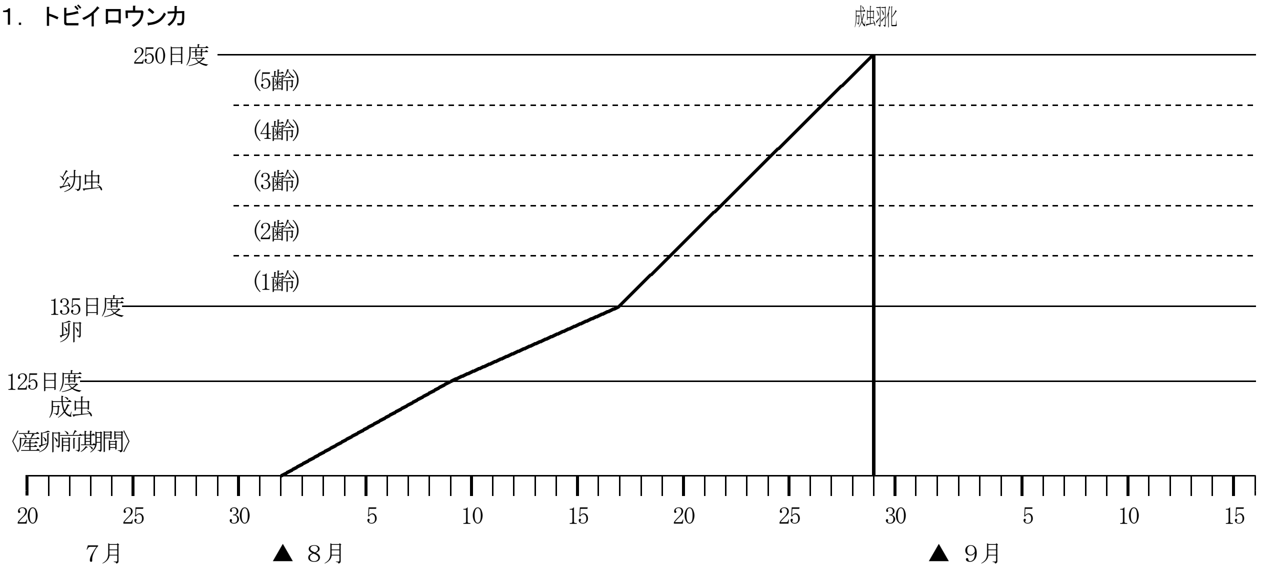
（２）稲の株元に生息するので，粉剤や液剤で防除する場合は，薬剤が株元に十分届くように行う。

（３）薬剤散布にあたっては，農薬の使用基準を遵守し，薬剤の飛散に十分注意する。

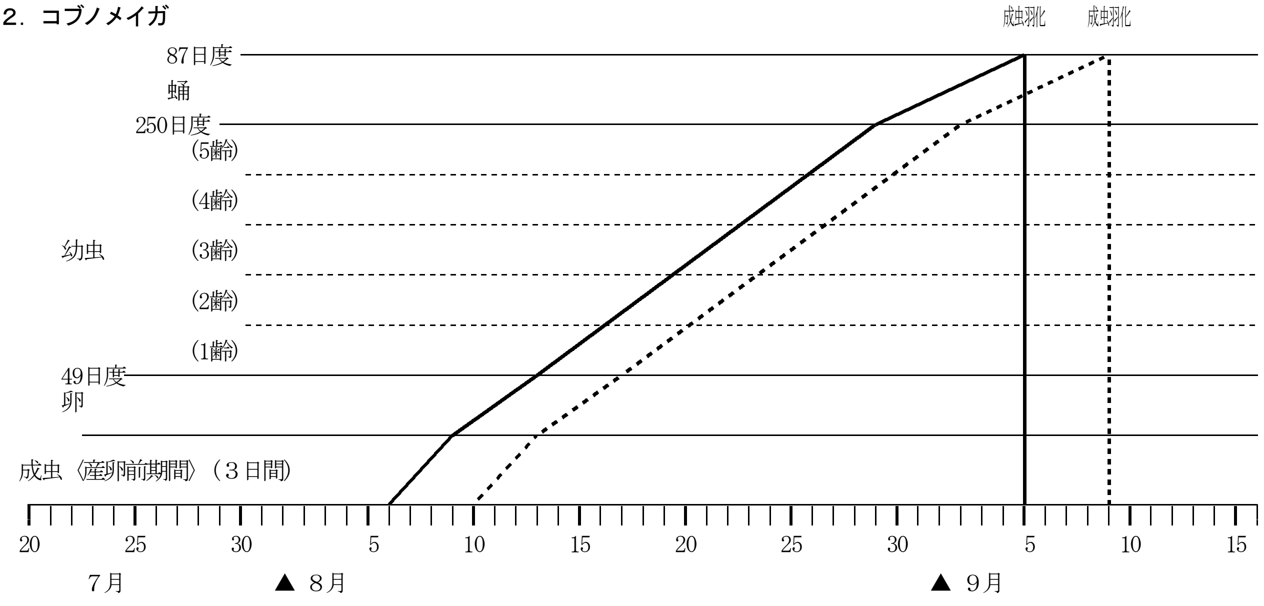
海外飛来性害虫の有効積算温度による発育経過予測図　(鹿児島地方気象台：鹿児島のデータを使用)

鹿児島県病害虫防除所　2007年８月８日 作成

1．トビイロウンカ



2．コブノメイガ



(注) 気温の低い地域では予測より２～３日程度遅くなる。